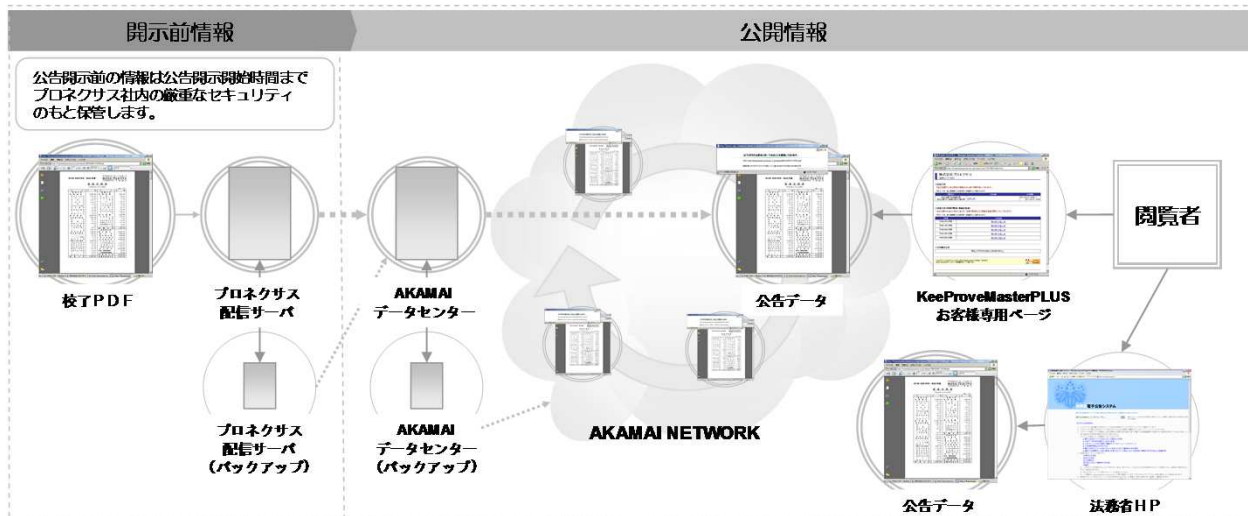
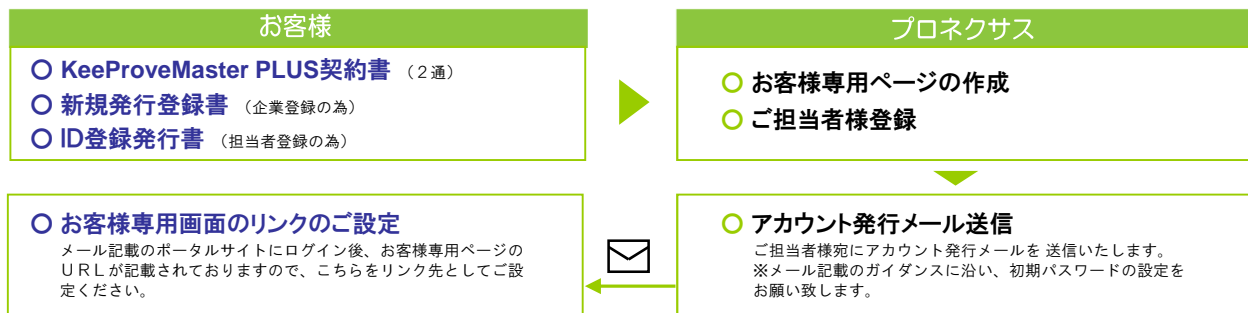


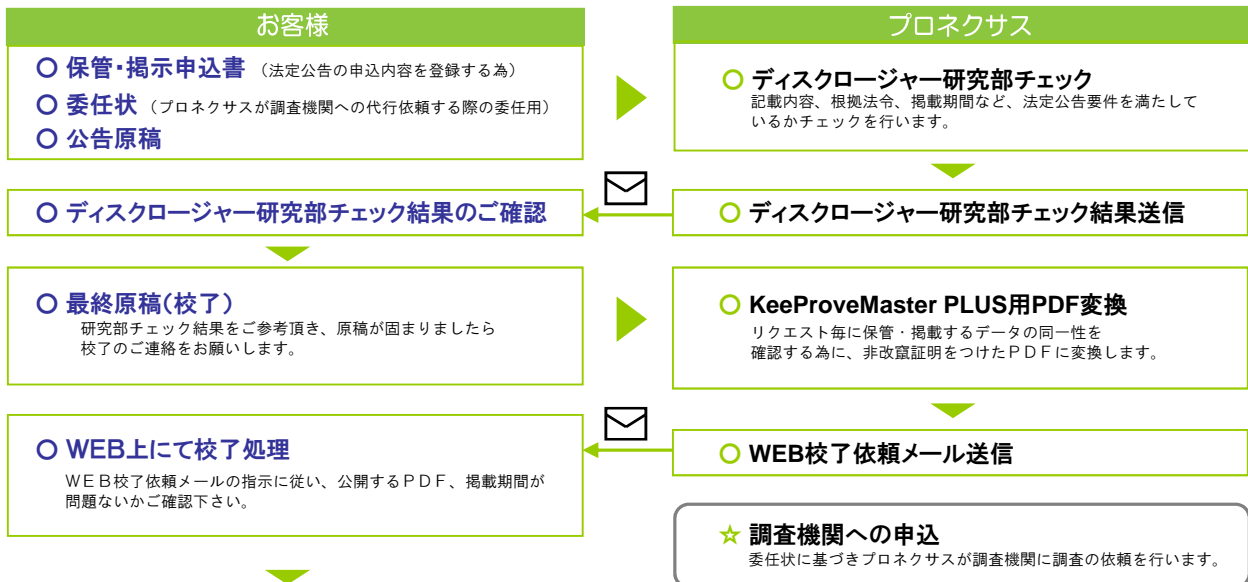
KeeProveMasterPLUS関連図



ご契約にあたって必要な手続き



公告発生時の実務の流れ

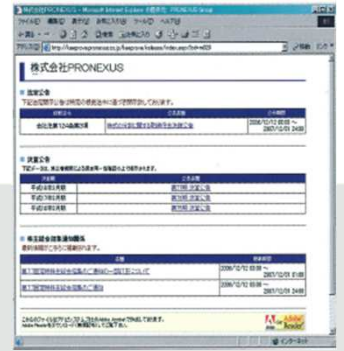


ご指定いただきました掲載期間に公告が開示されます

ご利用料金	●年間運営費用 30,000円(税抜)/1年(4月~翌3月) ※初年度は月割りでのご請求となります。	
	●電子公告1件あたり 掲載期間3ヶ月未満 200,000円(税抜) 3ヶ月以上1年未満 300,000円(税抜) (但し、決算公告に関しては、5年間で一律 170,000円(税抜))	※左記料金に調査費用は含まれていません。 ※左記料金には、データ作成料金が含まれています。 複数の公告を掲載する場合には、1つの公告につき1件分の料金が発生します。

KeeProve Master+シリーズ 第1弾

SHOSHU+



インターネット社会に対応した株主総会招集通知アップロードサービス

長く招集通知は株主のみに送付され、株主のみ知り得る情報と位置づけられておりましたが、IT技術の進歩とともに、コーポレートサイトが一般的になった今日では、自社のIRサイトなどで、株主以外の潜在投資家に対しても公開しているように加速しております。

企業にとっては情報を広く提供することが出来るようになるという恩恵を受ける一方で、インターネット環境を利用することによる新たなリスクが存在いたします。

WEB開示によるリスク

POINT
1

重要書類の改ざん及び改ざん、サーバダウンに気付かないこと

招集通知が改ざんされるようなことがあれば企業の情報セキュリティに対する信頼だけでなく、様々なステークホルダーからの信頼にも影響することが想定されます。また改ざんやサーバダウンに気づくのが遅くなれば遅くなるほど、企業へのダメージは大きくなると想定されます。インターネットの世界では、入念なチェックの後に開示される書類であっても、悪意のある第三者による中身の書き換えや企業側が意図しないサーバダウンといった危険性ははらんでいます。

○ 可能性のあるトラブル

株主総会運営の妨げ

担当者が知らなかったために、株主から想定外の質疑が出ることで、株主総会の議事進行に支障をきたす可能性があります。

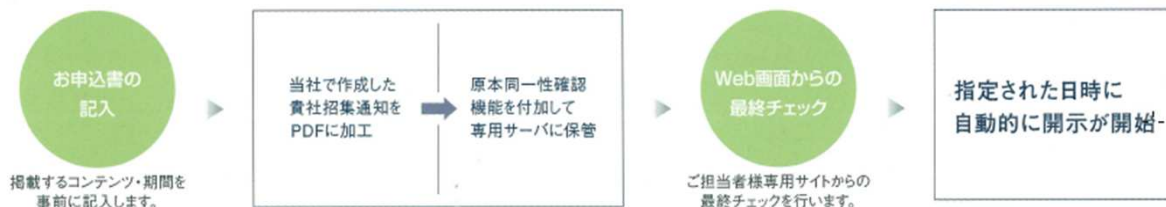
株主からの訴訟

インターネットに記載されている改ざんデータを参考にした株主から、「不利益を被った」として訴訟になる可能性があります。

SHOSHU+ がWEB開示に伴うリスクを解決いたします。
KeeProve Master PLUS で培った実績、信頼性を活かし、株主総会関連書類の掲載を「安全に、確実に、継続的に」WEBサイト上に掲載するサービスです。

サービスの流れ

校了原稿を当社が用意するWEB画面から最終チェックするだけで、指定時間に自動的に開示が開始されます。



ご利用料金

パッケージプラン	30,000円 (税抜)	コンテンツ数3点。招集通知の発送日より、株主総会終了後の3ヶ月を経過する日まで。
GUプラン (掲載期間延長プラン)	60,000円 (税抜)	コンテンツ数3点。招集通知の発送日より、1年を経過する日まで。
追加コンテンツ	30,000円 (税抜)	追加コンテンツ1点につき、プラン間わずプラス3万円 (税抜) で掲載致します。

※ KeeProveMasterPLUSの年間運営費用 (30,000円) は別途発生いたします。